

第67回 早稲田社会学会 大会・総会プログラム

日時： 2015年7月4日（土）9:30～18:00

会場： 早稲田大学戸山キャンパス 33号館3階 第1会議室

参加費： 1,000円（学部生は無料）

受付開始 9:00

一般報告 9:30～12:00

司会： 関水 徹平（立正大学）

笠原 良太（早稲田大学文学研究科）

成人期への移行の標準化に関するコーホート研究——北海道釧路市を事例に

清水 拓（早稲田大学文学研究科）

炭鉱機械化以降の労働世界を再考する——太平洋炭砒における技術革新を志向する労働者

張 龍龍（早稲田大学文学研究科）

高学歴中国帰国者一世のエスニシティ変容——相模原市早期帰国者の事例

川副 早央里（早稲田大学文学研究科） *1

原発避難者の「広域自治会」結成に関する考察——いわき市の事例から

野坂 真（早稲田大学文学研究科） *2

宮城県気仙沼市における東日本大震災津波前後の災害過程
——地域産業と地域復興との関係に注目して

*1、*2は2014年度研究助成対象研究

昼休み 12:00～13:30

シンポジウム打ち合わせ 12:15～13:15 33号館3階 第2会議室

理事会 12:15～13:15 戸山キャンパス 39号館3階 社会学コース室

シンポジウム 13:30～17:00

テーマ：「ナショナリズム」をいかに捉えるか？

報告者：永吉 希久子（東北大学）

グローバル時代におけるナショナリズムの変化

高橋 順子（日本女子大学）

沖縄をめぐるナショナリズム——復帰から現在まで

明戸 隆浩（首都大学東京）

現代日本の排外主義的バックラッシュと『対抗言論』——『つくる会』から『在特会』へ

討論者：田辺 俊介（早稲田大学）

司会者：熊本 博之（明星大学）

閉会の辞：浦野 正樹（早稲田大学）

総会 17:15～18:00

懇親会 18:30～ 早稲田大学文学部 33号館16階第10会議室（参加費：一般5,000円 学生3,000円）

連絡先：早稲田社会学会事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部社会学研究室内

Tel:03-5286-3742 E-mail: socio-office@list.waseda.jp

後援：早稲田大学総合人文科学研究センター